

地域整備方針（現行）

参考資料 2

（神戸市）

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>神戸三宮駅周辺 ・臨海地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>神戸市の都心の中核であり、複数の交通機関の結節点である三宮駅周辺および三宮駅からウォーターフロントに至るまでの地域において、商業、業務、文化など様々な都市機能の集積を図り、広域的かつ多様な都市拠点を形成</p> <p>ユニバーサルデザイン化や低炭素都市づくりなどを進めるとともに、国際的な都市間競争に負けない都市として持続的に発展していくため、デザイン都心神戸にふさわしい風格と賑わい、活力のある都市空間を創造しつつ、安全、快適で災害に強い市街地を形成</p> <p>臨海部における港湾としての緑地やプロムナードの充実等によるウォーターフロント空間の高質化、水際線沿いの回遊性の向上等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○建物の整備、更新にあわせて、商業、業務、文化、交流、防災機能の充実 ○磯上地区等において、都心居住機能を導入 ○三宮駅周辺において、駅の改築や駅周辺の再整備にあわせて、鉄道、バス、タクシーなどの各交通機関間の連絡の円滑化、駅前広場機能の強化などにより、交通結節機能を強化し、利便性、回遊性の向上を図るとともに、交通関連施設における滞留空間や災害時の備蓄機能の整備などにより防災対策を充実 ○新港突堤基部における港湾物流機能の移転、施設の更新にあわせて、居住・業務・商業などの複合的な機能を導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○三宮駅周辺において、各公共交通機関の乗り換えの利便性、回遊性、防災性の向上を図るため、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、案内サインやオープンスペースを備え、地下、地上、デッキレベルの歩行者動線の3層ネットワークなど安全で快適な歩行者空間を充実 ○三宮駅周辺において、駅前広場と連続した敷地空間の確保により、バスターミナルなどの駅前広場機能や災害時の一時滞留空間などの防災機能を充実、補完 ○ウォーターフロント空間の高質化や、水際線沿いの回遊性の向上などを図るため、臨海部に緑地やプロムナードを整備 ○防潮胸壁、陸間の整備による、津波、高潮に対する防災機能の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○三宮駅周辺において、すべての人の安全・快適な活動に寄与する歩行者空間を確保した都市開発事業を促進 ○三宮駅前や税関線の沿道において、神戸の顔にふさわしい建築物等の意匠や形態についての配慮など、風格のある景観形成に資する都市開発事業を促進 ○低炭素都市の実現に資する都市開発事業の促進
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>歩く人が中心のまちを目指す神戸の都心において、交通環境を再構築するとともに、更なる神戸らしい景観の形成などを推進し、「心地よいデザイン」を備え、公共空間と民地が一体となった神戸ならではの都市空間を官民協働で創出することにより、国内外から多様でクリエイティブな人材・企業の集積を進め、これらの交流・融合による技術革新や新たな産業の創出を促進することで、文化・経済が持続的かつグローバルに発展し、世界に貢献する未来創造都市のリーディングエリアを形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○医療産業都市、大学集積都市としての神戸の強みを活かした産学連携・交流機能の導入とともに、起業支援の取組みやビジネスマッチング、グローバルな企業活動を支える高度な業務機能を導入 ○居住者、滞在者等の創造的活動を支える文化・交流機能を導入 ○ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、多様な国籍、文化、性別、世代の人が安心・快適な都市生活を享受できるアメニティ機能を導入 ○建築物の低層部へ賑わいの創出に資する商業機能等を導入することにより、回遊する魅力の高い歩行者空間を形成 ○各交通手段の乗換え利便性の向上、駅前広場の再整備、国際空港や他都市とのアクセス性向上に資するバスターミナルの整備等により、交通結節機能を強化 ○多言語に対応した緊急時の情報発信手段や帰宅困難者の退避施設等の防災機能を強化 ○国内外からの来訪者、滞在者の活動拠点の形成に資する総合的な情報提供機能、宿泊機能を導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○三宮交差点を中心として、フラワーロード及び中央幹線の一部を、神戸の玄関口を象徴する人と公共交通が優先の空間として整備 ○周囲からの視認性に優れた歩行者の垂直動線及び滞留空間を備えた空間を整備し、地下、地上、デッキレベルの歩行者空間ネットワークを強化するとともに、国内外からの来訪者を誘導する統一された多言語の案内サインを整備 ○道路空間・道路地下空間の活用によりまちなか空間のにぎわいや魅力を創出するとともに、歩行者空間の拡大・魅力化や歩行者動線の強化などの回遊性向上のための施策を実施 ○駅前広場の拡充等により、歩行者空間の充実や交通結節機能の強化を図るとともに、災害時における帰宅困難者の安全な滞留にも対応できる防災機能を強化 ○都心において潤いのある心地よい空間を創出するため、緑陰空間や休憩場所の整備、東遊園地の芝生化や屋上を活用した緑地の整備等により、花と緑のネットワークを形成 ○歩く人を中心とする交通環境の再構築に資する駐車（自転車を含む）、荷捌きの施設を適切に配置 	<ul style="list-style-type: none"> ○神戸らしい都市景観や世界に誇る夜間景観の更なる整備、眺望の視点場の整備に資する都市開発事業を促進 ○都心において、新たな交通手段を都心交通として導入するなど、歩行者と公共交通を優先し、快適に移動できる効率的な交通システムを構築 ○エリアマネジメントにより、公共空間の利活用や地域の特色を活かしたまちの魅力を向上 ○震災復興の記憶とともに、神戸の魅力・発展の展望を国内外に広報・PRするシティープロモーションを強化 ○既存地下空間を活用した電気・熱融通システムの構築等により、環境負荷の低減とともに、防災性の高い業務継続地区を形成